

平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月7日

上場取引所 大

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.ipd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大部 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 久保 裕

TEL 03-5408-3351

四半期報告書提出予定日 平成23年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	1,044	△0.5	△27	—	△16	—	△13	—
23年5月期第1四半期	1,049	0.0	△30	—	△18	—	△21	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 △8百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	△2.37	—
23年5月期第1四半期	△3.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	8,433	8,010	95.0
23年5月期	8,820	8,102	91.9

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 8,010百万円 23年5月期 8,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	△2.5	21	—	37	678.9	12	—	2.16
通期	5,000	2.4	260	11.4	300	△11.2	165	△15.1	29.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	5,745,184 株	23年5月期	5,745,184 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	200,092 株	23年5月期	200,092 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	5,545,092 株	23年5月期1Q	5,545,113 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の電力制限等厳しい状況の中、サプライチェーンの立て直しにより生産や輸出が持ち直し、経済全体も持ち直しつつあります。しかし、世界経済の回復テンポの鈍化や企業収益の減少等依然として不透明感が強く、設備投資は回復には至っておりません。情報サービス産業におきましても、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は継続しており、ソフトウェア投資も概ね横ばいとなっております。

こうした環境の中、当社グループは、ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることにより顧客に最大のメリットを提供するというトータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス (T-SES) を実現するために、社会インフラを戦略分野として、受注拡大のための営業強化、当社のマネジメント力を活かすための請負範囲の拡大、実務を通じた人材の育成等を重点施策として実施してまいりました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は1,044百万円（前年同期比0.5%減）、営業損失は27百万円（前年同期比12.4%減）、経常損失は16百万円（前年同期比12.7%減）、四半期純損失は13百万円（前年同期比39.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①制御システム

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムの開発や関連ツールの開発が国内、海外とも好調を維持し、発電所制御装置のミドルウェア開発や環境運用計算機の開発等も堅調に推移しました。また、自動車向けでは環境対応車等の制御システム開発は堅調に推移しておりますが、カーナビ等車載システムの開発は受注環境が厳しくなりました。

この結果、売上高は252,742千円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は62,720千円（前年同期比6.7%増）となりました。

#### ②交通システム

交通システムでは、新幹線や在来線の運行管理システムの受注は横ばいで推移し、東京圏の次期システムも堅調に推移しました。また、売上はプロジェクトの請負化が進むことで、下期に検収が増える傾向にあります。

この結果、売上高は145,791千円（前年同期比12.8%減）、セグメント利益は17,303千円（前年同期比59.7%減）となりました。

#### ③特定情報システム

特定情報システムでは、衛星画像の地上システムや画像解析等のシステム開発は受注を大きく減らしましたが、危機管理分野の中でも防衛関連で大型システムのリプレースが始まっており、今後も堅調な受注が見込まれています。しかし、プロジェクトの大型化に伴い検収が翌年度になる等、当事業年度においては仕掛が増え売上は抑えられる傾向にあります。

この結果、売上高は90,527千円（前年同期比8.3%減）、セグメント利益は3,240千円（前年同期比79.4%減）となりました。

#### ④組込システム

組込システムでは、これまで主力であった旧来の携帯電話向けシステムの開発から、スマートフォンやストレージデバイス等の組込システムの開発に軸足を移しつつありますが、まだ十分な開発規模の確保には至っておりません。その他、情報家電やデジタル複合機の組込システム開発は概ね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は190,006千円（前年同期比32.7%減）、セグメント利益は15,452千円（前年同期比69.1%減）となりました。

#### ⑤産業・公共システム

産業・公共システムでは、鉄道事業者向けの設計支援業務は横ばいでしたが、自動改札の改造案件を受注することで業務範囲を広げました。

この結果、売上高は132,788千円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は30,393千円（前年同期比1,901.7%増）となりました。

#### ⑥ITサービス

ITサービスでは、検証業務はこれまで内製化を進めていた顧客からの発注が戻り始め緩やかに回復しました。構築業務は特定製品を中心とした構築から顧客ニーズに沿った構築支援業務に軸足を移したことにより受注が増加しました。保守・運用では過去に取引のあった顧客からの一時的な受注がありましたが、概ね横ばいの状態となっております。

この結果、売上高は232,259千円（前年同期比35.6%増）、セグメント利益は52,096千円（前年同期比356.4%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて387百万円減少して、8,433百万円となりました。これは、有価証券が251百万円増加したのに対し、現金及び預金が736百万円減少したこと等によります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて295百万円減少して、422百万円となりました。これは、賞与引当金が減少したこと等によります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて91百万円減少して、8,010百万円となりました。これは、配当金の支払い等によります。

1株当たり純資産額は1,444円65銭です。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災の復興景気が期待される一方、米国債の格下げに象徴される米国経済の先行き不安や欧州におけるソブリンリスク等世界的な景気下振れ懸念があり、また、長期化する円高等国内景気にも不安材料が存在する等、不透明な状態が継続しております。

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年7月7日公表の平成24年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,914,953	3,178,727
受取手形及び売掛金	1,561,562	1,301,921
有価証券	1,757,380	2,008,836
仕掛品	113,748	212,085
繰延税金資産	168,714	180,875
その他	54,849	98,291
貸倒引当金	△189	△243
流動資産合計	7,571,020	6,980,495
固定資産		
有形固定資産	254,941	250,735
無形固定資産	91,594	85,941
投資その他の資産		
投資有価証券	650,773	858,741
その他	251,990	257,148
投資その他の資産合計	902,763	1,115,889
固定資産合計	1,249,300	1,452,565
資産合計	8,820,320	8,433,061
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,356	30,436
未払法人税等	89,207	10,236
賞与引当金	321,659	149,545
その他の引当金	15,377	10,893
資産除去債務	—	3,843
その他	195,015	166,492
流動負債合計	661,616	371,447
固定負債		
引当金	52,115	47,280
資産除去債務	3,843	—
その他	96	3,622
固定負債合計	56,054	50,902
負債合計	717,670	422,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,463,278	4,366,939
自己株式	△175,248	△175,248
株主資本合計	8,101,287	8,004,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,362	5,764
その他の包括利益累計額合計	1,362	5,764
純資産合計	8,102,649	8,010,711
負債純資産合計	8,820,320	8,433,061

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	1,049,657	1,044,115
売上原価	869,727	880,322
売上総利益	179,929	163,793
販売費及び一般管理費	210,921	190,929
営業損失(△)	△30,991	△27,136
営業外収益		
受取利息	7,162	7,190
その他	5,432	3,885
営業外収益合計	12,595	11,075
経常損失(△)	△18,396	△16,060
特別利益		
その他	414	—
特別利益合計	414	—
特別損失		
固定資産除却損	—	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,157	—
その他	1,893	—
特別損失合計	9,050	8
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,033	△16,069
法人税、住民税及び事業税	3,580	7,172
法人税等調整額	△8,977	△10,078
法人税等合計	△5,397	△2,906
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△21,635	△13,163
四半期純損失(△)	△21,635	△13,163



【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△21,635	△13,163
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,499	4,401
その他の包括利益合計	△2,499	4,401
四半期包括利益	△24,135	△8,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,135	△8,761
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I. 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高	216,727	167,278	98,760	282,403	120,624	171,280	1,057,074
セグメント利益又は損失(△)	58,779	42,921	15,733	49,960	1,518	11,415	180,328

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高	△7,417	1,049,657
セグメント利益又は損失(△)	△211,319	△30,991

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△211,319千円には、セグメント間取引消去1,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△212,485千円及びその他△548千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II. 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	252,742	145,791	90,527	190,006	132,788	232,259	1,044,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	252,742	145,791	90,527	190,006	132,788	232,259	1,044,115
セグメント利益又は損失(△)	62,720	17,303	3,240	15,452	30,393	52,096	181,207

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,044,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	1,044,115
セグメント利益又は損失(△)	△208,343	△27,136

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△208,343千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△190,929千円及びその他△17,414千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	190,022	+20.3
交通システム	128,488	+3.3
特定情報システム	87,286	+5.1
組込システム	174,554	△24.9
産業・公共システム	102,394	△14.0
ITサービス	180,162	+12.7
合計	862,908	△1.6

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	261,151	+72.6	150,565	+82.0
交通システム	24,980	△78.7	294,684	+251.4
特定情報システム	35,659	△55.0	30,399	△64.1
組込システム	220,926	△18.0	90,952	+10.1
産業・公共システム	116,003	+7.1	32,412	+38.8
ITサービス	204,052	+5.3	110,706	△13.6
合計	862,773	△6.2	709,718	+46.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	252,742	+16.6
交通システム	145,791	△12.8
特定情報システム	90,527	△8.3
組込システム	190,006	△32.7
産業・公共システム	132,788	+10.1
ITサービス	232,259	+35.6
合計	1,044,115	△0.5

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	258,202	24.6	306,415	29.3
株式会社東芝	241,565	23.0	115,217	11.0

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。